

1 単元 徳川家光と江戸幕府

2 目標

- (1) 大名行列に見られる将軍の力の大きさや将軍と大名の関係から、家光の政治に関心をもち、江戸幕府の政治の様子を意欲的に調べようとする。(社会的事象への関心・意欲・態度)
- (2) 大名統制や身分制度の確立、鎖国などから、江戸幕府が支配体制を強めていったことを考えることができる。(社会的な思考・判断)
- (3) 年表、写真、絵、地図、文章資料などを活用して、大名行列、身分と人々の暮らし、キリスト教の禁止と鎖国などについて調べ、江戸幕府の支配体制の様子をまとめたり発表したりすることができる。(観察・資料活用の技能・表現)
- (4) 家光の時代に、参勤交代が制度化し大名を抑える仕組みが整ったことや、キリスト教の禁止や海外との貿易の統制などにより江戸幕府の政治体制が安定したこと、身分制度が確立し、武士による政治が安定したことが分かる。(社会的事象についての知識・理解)

3 単元について

本単元では、徳川3代将軍家光が、「大名統制」「身分制度」「鎖国」の三つの政策により、江戸幕府の支配体制を確立させていったことを理解できるようにすることをねらいとしている。

児童はこれまでに、絵や図などの資料の読みとりや、調べ学習により自分の論を構築し討論する学習を繰り返し行ってきた。本単元の学習を進めるにあたり、関連すると思われる項目について意識・実態調査の結果は、次の通りである。

意識調査より

歴史の学習は好きですか。

はい 14人 どちらとも言えない 5人 いいえ 1人

あなたが楽しいと感じて自分から行いたいと思う学習活動は何ですか。(複数回答)

見学や調査などの体験的な学習 19人 コンピュータなどによるプレゼンテーション 15人
 クラスでの討論活動 15人 先生からの説明を聞きながら進める学習活動 14人
 絵やグラフなどの資料を読みとる活動 10人 興味や関心のある学習内容の調べ学習 9人
 調べたことを新聞やレポートにまとめる活動 6人

学力診断のためのテストの結果より

2つの円グラフを比較し違いを読みとる問題 写真と表から何が分かるか読みとる問題
 正答12人 誤答8人 無答 0人 正答12人 誤答8人 無答0人

これらの結果から、歴史が好きな児童が多いが、自分で調べたりまとめたりする活動はあまり好まないようである。また、学力診断のためのテストの結果からは、グラフや表を読みとる力がまだ十分ではないことが分かる。

以上のことから、本単元ではこれまで通り、分かったこと、気づいたこと、思ったことを考える活動を多く取り入れることで、資料の読解力を向上させていきたい。また、調べ学習を十分に行い、テーマに対する自分の主張や根拠を明確にして討論に臨ませるとともに、友達の様々な意見を聞くことで、自分の考えを深めさせていきたい。

4 指導・評価計画（6時間扱い）

時間	学習内容	観点別評価				評価規準（評価方法）
		関	考	表	知	
1	資料を読み取り，参勤交代とは何かを調べる。					・ 絵画資料を見て，分かったこと，気付いたこと，思ったことを発表し合い，江戸時代について学習問題を設定している。 （発表，ノート）
2	家光はどのようにして大名を従えていったのかを話し合う。					・ 絵画資料，地図，文章資料などから，江戸幕府による大名支配の工夫やしぐみについて考えている。 （発表，ノート）
3	身分制度のもとで，人々はどのような暮らしをしていたのかを調べる。					・ 絵画資料，文章資料などから，江戸時代の人々の暮らしを，身分制度の確立と関わらせて考えている。 （発表，ノート）
4	鎖国はどのようにして行われ，その結果どうなったのかを調べる。					・ 絵画資料，年表などから，鎖国とキリスト教禁止までの経過とその影響についてまとめている。 （発表，ノート）
5	討論会に向けて情報を収集し，自分の主張とその根拠を明確にする。					・ 討論会に向けて収集した情報をもとに，自分はどちら側に立ち，その理由は何かをノートに書いている。 （ノート）
6	「幕府が行った鎖国政策に賛成か反対か」というテーマで討論会をする。					・ 理由を明確にして自分の考えを述べたり，相手の発言に応じて発表したりしている。 ・ 友達のような考えを聞き，鎖国について考えを深めている。 （発表，ワークシート，自己評価表）

5 本時の学習

（1）目標 鎖国政策について討論することで，根拠を明確にして意見を述べたり，相手の発言に応じて発表したりする力を身につけるとともに，様々な考えを聞いて，鎖国に対する自分の考えを深めることができる。

（2）準備・資料

年表 学習計画表 討論会評価表，実物投影機，スクリーン，最終決定カード

（3）展開

学習活動・内容	教師の支援と評価
1 本時の学習課題を確認する	・ 前時までの学習の流れを，学習コーナーを使って振り返って，本時の学習課題を確認する。 ・ 年表を使って，鎖国はいつだれが何のために行ったかを確認する。

2 討論会の心構えや約束，話し方を確認する。

3 討論会を行う

「幕府が行った鎖国政策に賛成か反対か」というテーマで討論しよう。

予想される意見

(賛成派)

- ・ 平和な時代が続いたから
- ・ 出島だけでもたくさん貿易できた。
- ・ 外国の植民地とされてしまう。
- ・ 貿易を独占しようとする大名が現れる。
- ・ 日本的な独特の文化が生まれる。
- ・ 日本を統一するには仏教だけがよい。

(反対派)

- ・ 日本だけの文化なので発達が遅れる。
- ・ 外国に行ってみたい人もいたはずだ。
- ・ 食糧もたくさん輸入できた。
- ・ 多くのキリスト教信者が犠牲になった。
- ・ キリスト教の教えだけでも聞くべきだ。
- ・ 身分差がない外国のことを学べた。

4 先の討論を受けて，現在の自分の考えを書く。

- ・ 討論前と考えが変わらない。～という考えはとてもよいと思った。
- ・ 討論前と考えは変わらないが，相手の～という意見はよいと思った。
- ・ ～という相手の考え方を聞いて，討論前と考えが変わった。

5 自己評価をする。

(1) 討論会自己評価

(2) 本時の活動の振り返り

・ ノートに書いたことや用意した資料をもう一度見直すとともに，自分の主張とその理由は何かを自信をもって発表させるようにする。

・ 討論会自己評価表を見ながら，最後まで相手の話を聞くことや相手の話に応じて話すことが大切だということを確認する。

・ 賛成派，否定派が向かい合い，討論しやすいようにする。

・ 討論中は，教師は口を挟まないで児童の活動のようすを見守りたい。どうしても論点がずれてしまい修正できない場合は，「話がテーマとずれているので，話を元にもどしなさい。」と助言する。

・ みんなに見てほしい資料を児童が用意してきた場合は，実物投影機を使ってスクリーンに映し出すようにする。

・ 討論後は，1回でも発言できた児童を褒める。さらに，誰かに反対したり付け加えたりして意見をつなげた児童については，名前を挙げて賞賛する。

・ 児童に知っていてほしい，幕府がなぜ鎖国をしたかがわかる資料が賛成派から提示されなかった場合は，教師が最後に補足説明する。

評【技能・表現】

鎖国について，理由を明確にして自分の考えを述べたり，相手の発言に応じて発表したりしている。

・ 「最終決定カード」を用い，討論前と討論後での考えの違いが明確になるようにする。

・ 同じ派の友達のよいと思う意見や相手の友達の納得できる意見などをよく考え合わせた結果，考え方や主張の理由が変わってもよいことを伝える。

評【思考・判断】

友達の様々な考えを聞いて，鎖国についての自分の考えをさらに深めている。

・ 討論会での発表の仕方や話の聞き方について点数をつけて評価し，次回の討論に生かす。

・ 今日の反省やこれからさらに調べたいことを学習計画表に記入する。

「徳川家光と江戸幕府」学習計画・評価表

時間	学習すること	評価すること	評価	もっと調べたいこと もう一度調べ直したいこと
1	参勤交代とはなんだろうか。 江戸時代について	一生懸命活動できたか。		
		進んで意見をいうことができた。		
		友だちの考えと比較できたか。		
学習問題を設定しよう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 徳川家光は、どのようにして幕府の力を強くしたのか。 </div>				
2	家光はどのようにして大名をしたがえていったのだろうか。	一生懸命活動できたか。		
		進んで意見をいうことができた。		
		友だちの考えと比較できたか。		
3	身分制度のもとで、人々はどのように暮らしをしていたのか	一生懸命活動できたか。		
		進んで意見をいうことができた。		
		友だちの考えと比較できたか。		
4	鎖国はどのようにして行われ、その結果どうなったのだろうか	一生懸命活動できたか。		
		進んで意見をいうことができた。		
		調べたことをまとめられたか。		
5	討論会に向けて準備をする。	一生懸命活動できたか。		
		資料を収集することができたか		
		主張や根拠を明確にできたか。		
6	「幕府が行った鎖国政策に賛成か反対か。」というテーマで討論会をする。	一生懸命活動できたか。		
		進んで意見をいうことができた		
		友だちの考えと比較できたか。		

学習課題

家光は、どのようにして大名をしたがえっていったのだろう。

資料集 P52の「参勤交代のようす」を見て、分かったこと、気づいたこと、思ったことを書きなさい。

参勤交代はなんだろう。()にあてはまる言葉を書きなさい。

「大名は()年交代で、()と領地に住むことが定められました。一方、大名の妻子は()に住まわされました。」

資料集 P53の地図と円グラフを見て、()にあてはまる言葉を書きなさい。

「加賀藩では、江戸まで約() kmの道のりを()日かけて歩いた。また、江戸のやしきに住む費用が()両、大名行列(金沢と江戸を往復する)にかかる費用5千両(今のお金で()円)の合わせて()両がかかった。」

資料集 P52の「大名の配置」を見て、分かったこと、気づいたこと、思ったことを書きなさい。

「大名の配置」や資料集 P52の「武家諸法度」を読んで、家光はどのようにして大名をしたがえていったのか、自分の考えを書いてみよう。

学習課題 **きびしい身分制度のもとで、人々はどのような暮らしをしていたのだろうか。**

資料集 P 5 3 , 教科書 P 6 4 , 6 5 を読んで、江戸時代にはどのような身分に分かれ、どのような生活をしていたのかを調べよう。

身 分	人工の割合	住んでいる場所	仕 事 や く ら し の 様 子
武 士	%		人々を支配 戦(いくさ)に加わる 参勤交代
農民(百姓)	%		
町人(職人と商人)	%		
差別されてきた人々	1.5 %	百姓や町人と区別	

教科書 P 6 5 の「百姓の生活の心得」「差別されてきた人々」から、このころ百姓たちがどのような生活をしていたのかを想像してみよう。

きびしい身分制度のもとで、人々はどのような暮らしをしていたのかをまとめてみよう。

幕府は、人々の身分を武士、(), 町人に分け、住む場所や仕事を制限して支配していった。また、() たちは、ぜいたくな生活ができず、重い() に苦しみながら生活していた。

学習課題 鎖国はどのようにして行われ、その結果どうなったのだろう。

「鎖国とは、()教をきびしくとりしまり、貿易の相手国や場所を()
することである。」

資料集P54の「鎖国以前の貿易」と「鎖国令」を見て、分かったこと、気づいたこと、思ったこと
を書きなさい。

資料集P54の「長崎の出島」の絵を見て、分かったこと、気づいたこと、思ったこと
を書きなさい。

資料集P55の「キリスト教の信者の数」のグラフを見て、分かったこと、気づいたこと、思ったこ
とを書きなさい。

資料集P55「島原・天草の一揆」を読んで、島原・天草の一揆についてまとめなさい。

- ・いつ
- ・どこで
- ・どんな戦いだったのか

- ・どうなったのか

鎖国はどのようにして行われ、その結果どうなったのかをまとめてみよう。

幕府は、鎖国令を出して貿易の相手国や場所を()したり、()教を
きびしくとりしまったりした。その結果、貿易は()だけに限られ、
()教信者はたくさん殺された。

「徳川家光と江戸幕府」話し合いカード（ ）

幕府が行った鎖国政策に賛成か反対か。

幕府が行った鎖国政策に である。

理由は

話し合いをしてみて()さんの

という考えがよかった。

最 終 決 定

という理由で、幕府が行った鎖国政策に()である。